

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. 57-63302
Published 1982

Title

Room mirror for automotive

Scope of Claim

A room mirror for automotive, comprising: a mirror body positioned in front of a front face of a room mirror existing in an automotive; an insertion portion formed on an upper part of a rear face of said mirror body, a lower part of which is opened to receive an upper part of said existing room mirror; two projections disposed on a lower part of the rear face of said mirror body so as to have a distance therebetween in a lateral direction, to be engaged in a lower edge of said existing room mirror; and a leaf spring, both ends of which extend downwards while curved, engaged in an upper edge of said existing room mirror disposed in said insertion portion to restrict said existing room mirror downwards, wherein lower faces of the both ends of said leaf spring are inclined faces inclining upwards from rear ends toward an upper end.

公開実用 昭和57- 63302



(实用新案法第9条第1項の
規定により専用する特許法
第44条第1項の規定による
実用新案登録願)
昭和56年7月10日

特許庁長官 島田春樹 殿

1. 考案の名称 ジドウシヤロウ
自動車用ルームミラー

2. 原実用新案登録出願の表示 実願昭52-159097号
(昭和52年11月29日)

3. 考案者

シンジユクエノキチヨウ
住所 東京都新宿区桜町3番地
株式会社 カーメイト内
イノウエ オトヒコ
氏名 井上 弟比古

4. 実用新案登録出願人

シンジユクエノキチヨウ
住所 東京都新宿区桜町3番地
名称 株式会社 カーメイト
ムラタ タカアキ
代表者 村田 隆昭

5. 代理人

住所 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目18番1号
第10森ビル8階
氏名 (6298) 律理士 澤木誠一
電話 (501) 0937-8番

6. 添付書類の目録

- (1) 説明書 / 1 通
- (2) 図面 / 1 通
- (3) 効用図面 / 1 通
- (4) 本願書類 / 1 通
- 出願年月日請求書 / 1 通

56 101836

明細書

1. 考案の名称 自動車用ルームミラー

2. 實用新案登録請求の範囲

(1) 自動車に既設のルームミラーの前面に位置されるミラー本体と、このミラー本体の後面上部に形成した、前記既設のルームミラーの上部が挿入される下方が開口した挿入部と、前記ミラー本体の後面下部に設けた、前記既設のルームミラーの下縁に係合する互に横方向に離間した2個の突部と、前記挿入部に設けた、前記既設のルームミラーの上縁に係合してこれを下方に抑制するその両端が下方に彎曲して延びる板バネとより成り、この板バネの両端下面が後端より上端に向かつて上方に傾斜する傾斜面となるようとしたことを特徴とする自動車用ルームミラー。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、自動車に既設のルームミラーに取り付けて用いる大きな鏡面を有する自動車用ルームミラーに関するものである。

公開実用 昭和57— 63302

2

一般に自動車に既設のルームミラーが比較的小さな鏡面の平面鏡であることから、大きな鏡面の広角ミラー等をルームミラーとして使用することの要請が少なくない。斯かる場合にルームミラー全体を交換することは、既設のルームミラーの取り外し及び所望のミラーの取付作業が必要である上取付方式に制限があり、従つて費用が高くなる等の点で得策ではない。

以上の如き理由から、既設のルームミラーに取り付けるようにした自動車用ルームミラーが提案され又実用化されているが、従来のこの種ルームミラーは複雑な構造を必要とし、部品点数が多く、従つて製作のための作業工数が多くてコストが高いばかりでなく、振動によつて容易に脱落する等の欠点がある。

本考案は以上の如き欠点を除くようにしたものであつて、自動車に既設のルームミラーの前面に位置されるミラー本体と、このミラー本体の後面上部に形成した、前記既設のルームミラーの上部が挿入される下方が開口した挿入部と、前記ミラ

一本体の後面下部に設けた、前記既設のルームミラーの下縁に係合する互に横方向に離間した2個の突部と、前記挿入部に設けた、前記既設のルームミラーの上縁に係合してこれを下方に抑制するその両端が下方に彎曲して延びる板バネとより成り、この板バネの両端下面が後端より上端に向かつて上方に傾斜する傾斜面となるようにしたことを特徴とする。

以下図面によつて本考案実施の一例を説明する。

本考案においては、第1図～第3図に示すように、その前面にミラー1を接着剤等により保持固定せしめたミラーホルダー2の後面において、その上縁から後方に延びる上板部3A、この上板部3Aの後縁から下方に屈曲して延びる後板部3B及び両側板部3C、3Cとより成り、下方に開口する挿入部3を前記ミラーホルダー2に一体に形成せしめる。この挿入部3は既設のルームミラーMの上方部分を挿入するためのものであり、前記上板部3Aの下面には、その両端が下方に彎曲して延びる板バネ4の中央頂部を固定して設け

公開実用 昭和57- 63302

4

ると共に、この板バネ4の両端部分と夫々対向するよう前記ホルダー2の下縁から後方に突出する突片5, 5を一体に設け、この突片5, 5には例えばスリットを形成したゴムパッキング6, 6をそのスリットにより着脱自在に装着せしめる。7は前記後板部3B及び上板部3Aの中央部分を切除して形成した、既設のルームミラーMのステーSが延び出る切欠部である。

又本考案においては第3図に示したように、既設のルームミラーMの上縁に対接する板バネ4の両端部分の対接下面4Aを、その前端が後端より上方となるよう僅かに傾斜せしめるようとする。

本考案自動車用ルームミラーは以上のような構成であるから、第3図に示したように既設のルームミラーMの上方部分を挿入部3の開口から相対的に挿入せしめてその上縁を板バネ4の両端部分に対接せしめ、板バネ4に抗して更にルームミラーMを相対的に押上げ、その下縁をゴムパッキング6, 6を介して突片5, 5に係合せしめればルームミラーMはその上下縁が板バネ4及び突片5,

5間に板バネ4の弾力により挿持され、結局本考案ルームミラーが既設のルームミラーMに取り付けられる。

而して本考案においては、既設のルームミラーMの上方部分がミラーホルダー2に一体の挿入部3内に挿入されるため、既設のルームミラーMの下縁と突片5, 5との係合が外されなければ脱落することはない。この突片5, 5にはゴムバッキング6, 6等を装着することにより、又は適当な係止形状を有せしめることにより、通常の取付状態でその係合が外れないようにすることが容易であり、自動車の振動に対しても安定な状態となし得る。又本考案の板バネ4はその両端部分が夫々別個に変位できるので振動によりミラー本体が既設のルームミラーMに対して傾斜してもその上下四点支持の状態は維持され極めて安定である。更に又第3図に示したように、既設のルームミラーMの上縁に対接する板バネ4の両端部分の対接下面4Aを、その前端が後端より上方となるよう僅かに傾斜せしめたことにより、既設のルームミラ

公開実用 昭和57-63302

6

—Mの上縁に下方のみでなく前方にも板バネ4の力を加えることができ、この結果既設のルームミラーMの上縁がミラーホルダー2の背板2A側に押圧されて固定状態をより十分なものとすることができる。

又本考案においては、挿入部3と板バネ4と突片5, 5をミラーホルダー2に設けるのみでよいかから部品点数が少なくてよく、従つて構造が簡単で大きな耐振強度が得られると共に、製作工数が減少してコストを低くすることができる。

本考案ルームミラーは、その板バネ4の両端部分の可動範囲に応じた高さ幅の既設のルームミラーMに対して適用することができる。そして異なる厚さのパッキング6を用いれば適用し得る既設のルームミラーMの高さ幅の範囲を変えることができ、従つて種々の既設のルームミラーMに適用可能である。

以上のように本考案によれば極めて簡単な構成により、部品点数が少なくてコストが低く、好適な使用状態が得られ、種々の既設のルームミラー

に適用し得る自動車用ルームミラーを提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

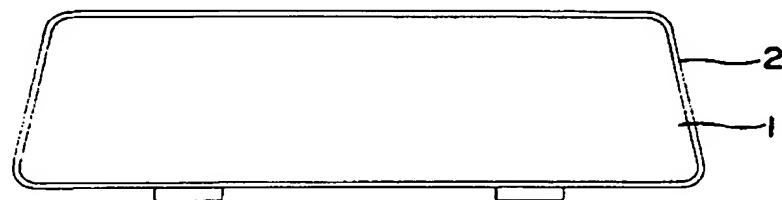
第1図及び第2図は夫々本考案自動車用ルームミラーの正面図及び部分破断背面図、第3図は取付状態の説明用縦断側面図である。

1…ミラー、2…ミラーホルダー、3…挿入部、
4…板バネ、5…突片、6…パッキング、M…既設のルームミラー。

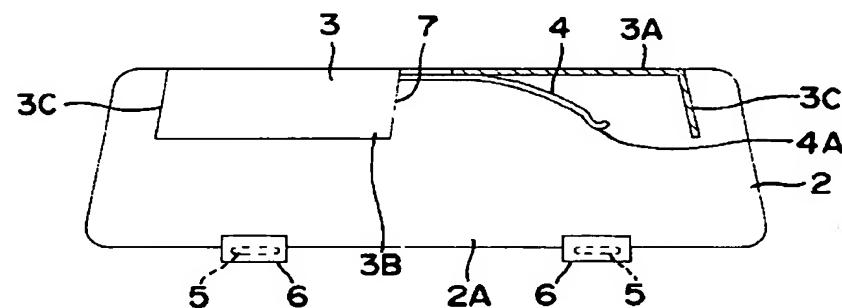
代理人 弁理士 澤木誠一

公開実用 昭和57—63302

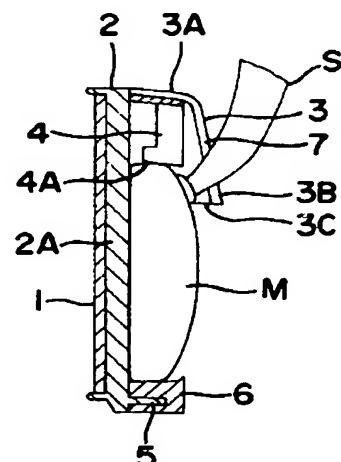
* 1 図



* 2 図



* 3 図



63302

